

ＪＩＣＡ環境社会配慮助言委員会 第21回全体会合

2012年2月6日(月) 15:00～17:00

ＪＩＣＡ本部 2階 229会議室

議事次第

1. 開会

2-1. 案件概要説明(ワーキンググループ会合対象案件)

(1) ネパール国 全国貯水式水力発電MP調査スコーピング(3月19日(月))

2-2. 上記案件および案件概要説明済み等のWGスケジュール確認(別紙1参照)

(1) オモン コンバインドサイクル発電所3号機建設事業 DFR(3月23日(金))

(2) フィリピン 新ボホール空港建設及び持続可能型環境保全事業(有償) DFR  
(3月23日(金))

3. ワーキンググループ会合報告および助言文書確定

(1) ベトナム オモンコンバインドサイクル発電所3号機建設事業(有償)スコーピング  
(1月23日(月))

(2) ベトナム 自然環境と経済成長の共存に向けたキエンザン省フーコック島水  
インフラ総合開発事業(PPP)スコーピング(1月27日(金))

(3) インドネシア ジャカルタ大都市圏空港整備計画(開調)DFR(1月30日(月))

(4) ベトナム ロンアン省環境配慮型工業団地関連事業 環境レビュー(1月30日(月))

(5)カンボジア シハヌークビル港競争力強化調査プロジェクト(開調)スコーピング  
(1月20日(金))

4. その他

5. 今後の会合スケジュール確認他

・ 次回全体会合(第22回): 3月2日(金) 15:30から(於: JICA本部)

6. 閉会

以上

ネパール国  
全国貯水式水力発電所マスタープラン調査  
(開発計画調査型技術協力)  
~案件概要資料~

---

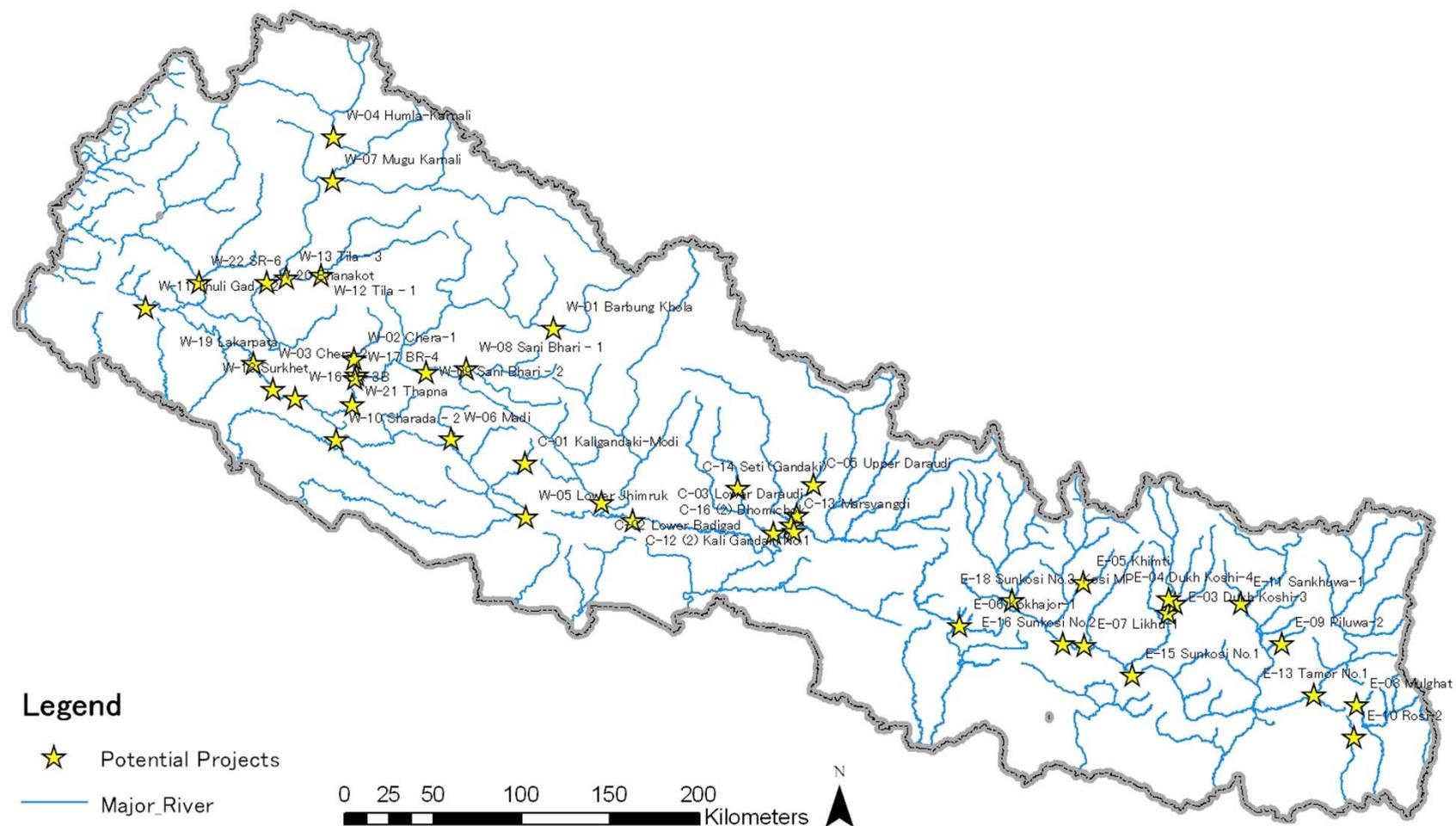
2012年2月6日

JICA産業開発・公共政策部

## 調査の背景

- ネパール全土の発電設備容量約690MWのうち、9割以上を水力発電に依存。
- 大半(水力発電容量の約85%)が流れ込み式水力発電所のため、河川流量が減る乾期に大幅な電力供給不足に陥る。
- 一日最大16時間の計画停電を余儀なくされており、生活環境及び経済活動の大きな支障となっている。
- 同国の豊富な水力資源を活用し、増大する電力需要に対応するため、季節的な発電量の調節が可能な貯水池式水力発電設備の建設が求められており、ネパール国家開発計画(新暫定三カ年計画(2010～2013年))において早期開発の必要性が謳われている。
- ネパール政府は、Energy Crisis Management Action Plan(2008年12月)にて10年間で10,000MWの水力開発を計画。

# 対象地域地図



# 調査の概要

【調査目的】 ネパール国における国内需要に対応した貯水池式水力発電マスタープランの策定を支援する。

【対象地域】 ネパール全土

【相手国実施機関】 ネパール電力公社 (NEA)

【調査内容】

## ① 電力開発計画の策定

今後20年間にわたる電力開発計画を策定のうえ、貯水池式水力発電の必要性・位置づけを確認する。

## ② 有望プロジェクトの選定

貯水池式水力発電所 (100MW～300MW程度の規模) の開発計画について、技術面、環境面、経済面、資金面等を考慮し、NEAが有するロングリスト中の候補プロジェクト (65地点) から有望地点を選定する。

## ③ マスタープラン策定

有望地点について、主な諸元、概算事業費、開発時期、優先順位、資金調達方法、留意点等を整理する。

# 環境社会配慮事項

## 戦略的環境アセスメント(SEA)

1. 電力開発計画策定段階において、火力等の代替電源やインドからの電力融通の可能性も比較検討した上で、貯水池式水力発電開発の妥当性を検討する。
2. 候補地点を比較検討し有望地点を選定する際に、以下の項目を含む環境社会配慮事項を選定基準として採用する。

項目		評価方法の例
自然環境への影響	自然保護区への影響	自然保護区内か否か
	生物多様性への影響	水没森林面積
	貴重動植物への影響	生息する貴重動植物の多寡
社会環境への影響	生活地への影響	移転世帯数
	生計手段への影響	水没耕作地面積
	少数民族への影響	移転世帯のうちの少数民族の割合
	観光への影響	対象物件(景勝地・文化財)の多寡

# 今後のスケジュール

内容	年月	2012												2013										
	2011	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8		
調査全体			①				②										③			③				
現地調査			■				■							■		■				■				
Stake Holder Meeting				▲										▲		▲								
助言委員会WG				▲	スコーピング案												▲	報告書案						

WG会合（スコーピング案）：2012年3月19日（月）

WG会合（ドラフトファイナルレポート）：2013年3月中旬

※環境カテゴリ：A（国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2004年4月））

カテゴリA：上記ガイドラインに掲げる水力発電セクターに該当するため